2024年3月期（第206期）第1四半期決算について

2023 年 7 月 31 日

大阪ガス株式会社

1.経 営 成 績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 決算の概要

当第 1 四半期の売上高は、国内エネルギー事業での原料費調整制度に基づきガス販売単価が高めに推移したことなどにより、前年同期に比べて増収となりました。経常利益は、国内エネルギー事業における原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグ（*1）による増益影響や、前年度のフリーポート LNG プロジェクトの液化基地の操業停止を受けた LNG 調達などに伴う費用増加の反動などにより、増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。

(*1)原料価格及び燃料価格の変動が、原料費調整制度及び燃料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

［単位：億円］

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連　　結	5,126（＋9.7%） ［4,671、＋454］	736（＋900.0%） ［73、＋662］	826（＋516.3%） ［134、＋692］	605（＋440.7%） ［112、＋493］

［　］内は前年同期実績及び対前年同期差、（　）内は対前年同期増減率

(2)セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、ガス事業での原料価格の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる増益影響や、前年度のフリーポートLNGプロジェクトの液化基地の操業停止を受けたLNG調達などに伴う費用増加の反動などにより、増益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、本年2月までのフリーポートLNGプロジェクトの液化基地停止などに伴う液化収入減や、豪州の上流事業などの減益により、減益となりました。「ライフ＆ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、概ね前年同期並みとなりました。

［単位：億円］

	売上高	セグメント利益（注）
国内エネルギー	4,446（＋11.0%） ［4,006、＋440］	581（　－　） ［△124、＋705］
海外エネルギー	220（△20.7%） ［　278、　△57］	138（△34.7%） ［　212、　△73］
ライフ＆ビジネス ソリューション	590（ ＋5.3%） ［　560、　＋29］	49（ △2.7%） ［　50、　△1］

(注)セグメント利益：営業利益＋持分法投資利益

［　］内は前年同期実績及び対前年同期差、（　）内は対前年同期増減率

(3)国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m^3]は前年同期を下回りました。家庭用のガス販売量は、前年度の新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の反動などにより、前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、前年同期を下回りました。

連結ガス供給件数（千件）		5,024（＋ 0.4%）
連結ガス販売量（百万m^3）		1,535（△ 7.7%）
	家庭用	376（△ 3.7%）
	業務用等	1,160（△ 9.0%）

（ ）内は対前年同期増減率

(4)国内電力販売実績

国内の電力販売量は、卸等での販売量の減少により、前年同期を下回りました。

低圧電気供給件数（千件）		1,743（＋ 5.7%）
電力販売量（百万kWh）		2,860（△15.7%）
	小売	1,272（＋ 4.6%）
	卸等	1,588（△27.0%）

（ ）内は対前年同期増減率

2.当期（2024年3月期）の業績予想

2023年5月8日に公表した業績予想から修正はありません。

［単位：億円］

	連結
売上高	20,170（ △11.3%）
営業利益	1,395（＋132.5%）
経常利益	1,590（＋110.2%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,160（＋103.1%）

（ ）内は対前期増減率

(参考)原油価格・為替レートの前提（2023年4月1日～2024年3月31日）

原油価格（全日本ＣＩＦ価格）：85ドル/バレル・為替レート（ＴＴＭ）：135円/ドル

以　上